

令和7年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館、旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館、旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法、文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例、旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	・新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡)：常設展示室、企画展示室、体験の広場 他 登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設：広場、堀、園路、駐車場他 ・旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡)、石庫、史跡旧新潟税関		

施設設置目的
新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めるとともに、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
1. 基本理念 資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし、展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして、市民とともに地域認識を深め、市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また、市民や利用者が、地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め、博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。 2. 管理運営方針 ①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。 ②市民の歴史に対する理解を深める。 ③歴史を媒介とした市民交流を行う。 ④市民の文化的・歴史的活動に寄与する。 ⑤文化財を保存・活用する。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	年間入館者数	博物館本館への年間入館者数93,000人以上	91,411人	B	9/10に発生した落雷事故により1か月休館したため、達成できなかったが、臨時休館という不可避な理由がなければ目標の達成は明らかだったため評価はBとした。
		館オリジナルの企画展を年4本以上実施	5本	A	自主事業の企画展を1本追加し、入館者数増を図った
	調査・研究の成果	歴史に関する講演・講座等を年40回以上実施	80回	A	評価指標を上回っており評価する
		体験プログラムを年60件以上実施	63件	A	評価指標を上回っており評価する
		展示図録を年2回以上発行	2回	B	「戊辰戦争」展、「てしごと」展の図録を発行した
		研究紀要を年1回発行	1回	B	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価 コメント
市民	施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年3回以上実施	11回	A	収蔵資料の公開を積極的に行い、新潟市域の魅力発信に貢献した
		近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施	4回（実際は雨天により1回中止したため3回）	A	年4回予定していたものの、雨天中止により1回中止（天候によるもののため、予定回数で評価は判断）
	学校との連携	施設訪問への対応や出前授業・講義など、各種学校との連携事業を年90回以上実施	104回	A	近年は施設見学だけでなく、職場体験やアウトリーチキットの貸し出しも開始し、学校連携の幅を広げている
	歴史文化事業の情報発信	ホームページ等を月4回以上更新し、情報発信を行う	都度更新	A	日々情報発信に努めている
		博物館ニュースを年3回以上発行	3回	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	99.0%	A	満足度が非常に高くなっており評価する
	歴史を媒体とした市民活動の場の提供	市民ボランティアスタッフの活動する機会を年100回以上	193回	A	ボランティアスタッフに高校生ボランティアも加わり、世代の幅が見られるようになった
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	都度迅速に対応	B	
	その他	博物館ファンクラブ会員数を140人 以上	R8. 3. 31時点99人	C	年々会員数が減ってきている。会員募集の発信先の開拓が必要。
		博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施	8件（実際は落雷事故により休館したため7件）	A	年8件予定していたものの、落雷事故により休館したため1件中止（予定件数で評価は判断）
財 務	管理経費の縮減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額：209,840,549円 管理費：206,369,857円	B	
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	103.8%	A	評価指標を上回っており評価する

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価 コメント
業 務	他施設・機関との連携	市関連機関・団体との情報共有の会議を年1回実施	3/6開催	B	
	日常連絡の適切さ	市への連絡訪問を月6回以上実施	月6回以上実施	B	
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	年2回（6/27・1/23）実施	B	
	文化財の適正な管理	条例，規則，協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な収集保存管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	6/15～6/17実施	B	
		展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施	毎日実施	B	
		文化財害虫の定期調査を実施	定期的に実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	6月にオンラインで各自受講	B	
		施設設備関係の各種法定点検の確実実施	建築物における衛生的環境の確保にかかる法律、消防法等にかかる法定点検を実施	B	
人 材	事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	都度更新	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を8人以上配置	9名（3/31現在）※育休職員1名含む	A	指標を上回る人員を配置している。
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年4回以上実施	11回	A	あらかじめ研修計画を立てたことにより指標を上回る研修の実施ができた。
	接遇マナーの維持・向上	受付職員等への接遇研修を年1回以上実施	11/19実施	B	

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）
令和7年度は9月10日に発生した落雷事故により約1か月間の休館を余儀なくされ、目標の93,000人には来館者数は届かなかったものの、新たに寄贈を受けた戊辰戦争の資料群から新潟市域の戊辰戦争の調査研究を重ね、その成果が夏季企画展を通じ来館者に還元されるなど成果は得られた年であった。しかし、落雷事故による復旧のため予算の工面で所管課は苦慮したことは理解できるものの、再開の目安を案内できなかったことは問題であると認識しておく必要がある。 また、当該年度は通常の指定管理事業のほか、新潟市重点事業「水がつながる各地域の歴史・文化の魅力発信事業」を実施し、川湊から発展した在郷町や潟を参加者とともに巡り、その地域で育まれた歴史や文化の魅力を発信できたほか、地域のまちあるきガイドによる地域の魅力の報告会を開催、生涯学習の面で大きな役割を果たせたことは意義深い。 これらの事業を通じ、当館の上位計画である『新潟市文化創造都市ビジョン（令和6年3月策定）』が目指す望ましい将来像「市民一人ひとりの心の豊かさやいきいきとした暮らしが、将来にわたってまち全体を活性化している」への一助となったと考える。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）
臨時休館の影響により入館者数は目標達成には至らなかったものの、市民の関心を集めるテーマを取り上げた企画展を開催するなど、利用促進に向けた取組を積極的に実施した結果、目標にあと一歩まで迫る実績を上げたことは評価できる。今後も企画内容の充実や効果的な情報発信に努め、さらなる利用者の確保と目標達成に向けた取組を期待する。 また、重点事業「水がつながる各地域の歴史・文化の魅力発信事業」を実施し、学びを深める機会を提供し、参加者の満足度向上につなげるなど、利用者ニーズに応じた魅力ある事業を展開した。 前回の評価において課題とされていた職員研修の実施についても、今年度は計画的に整備され、適切に実施されたことは評価できる。職員の資質向上に向けた取組が改善されており、今後も継続的な人材育成を通じて、さらなるサービスの向上を期待する。

- 評価基準
- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 - B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
 - C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。